

TAKE OFF! いんくる通信 No.17

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎東日本大震災から8年

毎年3月11日には「東日本大震災」の特集がテレビ各局で放送されます。この8年間に堤防や道路が整備され、建物が建てられていく様には復興を感じさせられますが、肝心の住民の帰還は滞りがちのようです。そびえ立つ堤防や、広大な住宅地のかさ上げ工事など、工事が進むにつれその規模の大きさに驚かされるとともに、その偉容を放つ風景にどうしても違和感を抱いてしまいます。

この災害では、家屋や道路が地震と津波で物理的に破壊されただけでなく、安全な暮らしや、人とのつながり、コミュニティそのものが壊されました。

人々は意に反して避難生活を強いられることとなったわけですが、仕事は生計の維持のために欠かせませんし、子供のいる家庭では教育の充実も大切なことです。そこが仮設住宅や仮の避難先であっても8年の間そこで暮し、仕事をし、学校に通うことで様々なつながりができ、新たなコミュニティが形成されてきたであろうことは容易に想像できます。このことはたくましい人間の営みの復活として喜ばしいものですが、皮肉にも住民の帰還が進まない一因ともされています。8年の歳月の重さを感じさせられます。

住民生活の再建には住宅の建設や堤防の整備、放射能の除染だけではなく、地域コミュニティの再生が不可欠なものであると言われています。私たち福祉事業にあたる者は、以前にも増して「地域との連携」に取り組み、地域コミュニティの一員としての役割を果たしていこうとの思いを強くしています。(鈴木)



・福祉サービス第3者評価報告書とステッカー

◎福祉サービス第三者評価

福祉サービス第三者評価とは、質の高い福祉サービスを事業者が提供するために、保育所、高齢者施設、障害者支援施設、社会的養護施設などにおいて実施される事業について、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みです。ジョブアシストいんくるでは、サービス内容をはじめ、組織全体の質の向上を目指しており、そのためには、定期的に第三者の客観的な評価を受けることが重要と考え、3年に一度受審しています。今年度がちょうど第三者評価を受けるタイミングであり、昨年の夏、第三者評価機関の方にお越しいただき、ご利用者や事業所職員との面談や事業計画の確認等を通じ、出していただいた評価が先日公表されました。

特に良いと思う点としては、

- ①就職準備性のみを重視するのではなく、利用者の意向を大切にしながら日々の支援を行っている。
 - ②実際の作業をすることで様々な業務体験やコミュニケーションスキルが得られるようなトレーニングを提供している。
 - ③就職後もジョブコーチによる職場での支援や就職者の会の開催など、働き続けられるようなサポートが行われている。
- という3点が挙げられました。

さらなる改善が望まれる点としては、

- ①福祉的支援を基本とする就労移行支援事業として、事業所独自の理念を明文化していくことに期待したい。
 - ②法人のキャリアパス制度と連動した事業所の人材育成計画および個人別の育成計画を策定することが期待される。
 - ③マネジメントの要素や各活動の執行体制などをより具体的に記した事業計画書および計画に連動した事業報告書の作成が望まれる。
- という3点が挙げられました。

サービス内容・質に関して、私たちが大切にしていることや特長として挙げていることを評価していただく一方で、組織運営・人材育成の面では、さらに改善が必要であることがわかりました。

改善の必要性を指摘された点について、早期に改善策を考案し、実施していくのはもちろんですが、高評価をいただいた点についても、よりよいものとなるよう心がけながら、日々業務に取り組んでいきたいと思っております。

第三者評価の結果は、以下のサイトから検索するとご覧いただけます。

(後藤)

→ <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm>

◎就活プログラム紹介

『スポーツエンジョイニング』

今回ご紹介する就活プログラムは、これまでに紹介してきた、パソコン講座、ビジネスマナー講座、各種就職に必要なスキル習得を目的としたプログラムから考えると、どんな内容だろうと思うかもしれません。

このプログラムは「身体の動きを通してリラックス、リフレッシュにつなげ、働くために必要な生活習慣の一助とすること」を目的としています。少し堅苦しい説明になりましたが、「体を動かしてスポーツを楽しみましょう」と参加する方へ伝えていきます。

また、仕事について考えた時、リラックスする方法を身につけ、体調を整えていくことは就職に大きく影響します。健康状態を振り返り、自分が体調を崩しやすい状況、体調を崩すサインを理解していることが必要です。それに対して適切な対処がとれることが安定した職業生活にもつながります。採用する会社側も体調管理の能力を重視しており、体調管理能力自体が会社へのアピールポイントとなります。

そこで、ストレスや疲労をためない対処方法の一つとして、体を動かすこと、リラクゼーションの取り入れ方を提案していきます。

このプログラムは月に1回開催します。開始して1年半ほどなので比較的新しいプログラムです。主に近隣のコミュニティーセンターを利用して室内でも行える、音楽に合わせたストレッチ体操や、風船ボールゲーム、ゆったりとした呼吸に合わせて、体のすみずみまで伸ばすリラクゼーションストレッチ、時には市内を巡るウォーキングなどを行います。

専門の講師(武蔵野市のスポーツ推進委員)が教えてくださるので、無理なく心地よく体の疲れをリフレッシュしていきます。「スポーツや球技は昔から苦手だから」と敬遠していた方も、徐々に体を動かすことに慣れ、楽しそうに参加している姿を見ます。

リラックスすること、リフレッシュにつながる方法はバリエーションがある方がよりよいでしょう。これからの就職や働き方を考えるために、ご自分がリラックスできる方法を見つけていきましょう。(小池)



◎パールブーケ実習を終えて。

まず初めは、開店準備で自動ドアのスイッチを入れました。そして、看板をかけてから、テーブルとイスを拭きました。たくさんあったので大変でした。次に野菜の仕込みをしました。レタスを一口サイズにちぎったり、玉ねぎの皮むきをして、セロリを切りました。セロリは初めて扱いました。においては苦手でしたが、切るのは楽しかったです。仕込んだレタスを使い、サラダの盛り付けをしました。それも、ただ盛り付けるだけでなく、色合いや芯の部分を均等に入れるのは難しかったです。レタスだけでなくトマトとコーンとクルミものせました。量に気を付ける事を意識しました。お昼になって混雑してきたら、お水を出したり料理を運んだりしました。足元に気を付けたり、お客さんに届けるまでは緊張しました。玉ねぎをスライスしてレンジで柔らかくして炒める事もしました。1時間くらい水分が飛ぶまで火の前に居たので暑かったですし、木べらを持っている手が痛かったですが、頑張りました。

飲食の仕事は、お客さんの流れで忙しさに波があるので、つられて慌てず丁寧にやりたいと思います。

今、過去問で自分なりに調理師の勉強をしているので難しいですが、いつか受けるチャンスがあれば挑戦してみたいです。(パールブーケで実習をされた、柳田様より寄稿頂きました。)

◎平成30年度 就職者の状況

平成30年度4月から16名が企業に就職しました。

- Aさん 株式会社 アグレックス 様
- Bさん 三井物産パッケージング 株式会社 様
- Cさん 株式会社 神戸屋練馬工場 様
- Dさん 株式会社 東洋冷蔵 様
- Eさん 西村あさひ法律事務所 様
- Fさん オリックス生命 株式会社 様
- Gさん アブラック・ハートフルサービス 株式会社 様
- Hさん SOMPO チャレンジド 株式会社 様
- Iさん 株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング 様
- Jさん 株式会社 吉増製作所 様
- Kさん ソフトブレーン・フィールド 株式会社 様
- Lさん 株式会社 エースソリューション 様
- Mさん SOMPO チャレンジド 株式会社 様
- Nさん 株式会社 パーソルサンクス 様
- Oさん A デンタルクリニック 様
- Pさん 株式会社 サンドラッグ・ドリームワークス 様

平成25年6月の開設以来、累計就職者は60名になります。

テイク オフ! いんくる通信 No.17 2019.03.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>